

頼もしい 子どもたち

「小さな親切」実行章の推薦に、小中高生生の親切が多く寄せられています。見て見ぬふりをする人が多い中、出会った瞬間に感じた「どうしたのかな？」を行動に移し、声をかけ、問題に対処する子どもたち。今や大人たちの手本となっています。



優しい気遣い

群馬県 富岡市立西中学校1年
磯貝裕月

通学途中のこと。磯貝さんは、けがをしている小学1年生に出会いました。痛そうな様子を見て、けがの応急措置を行い、そしておんぶして学校まで送り届けてあげました。学校に着くと、先生に事情を説明して名も告げずに中学校へ向かった磯貝さん。その姿に感動した先生が中学校に連絡し、磯貝さんの親切が判明しました。

熱中症に気をつけろ

山口県 美祢市立美東中学校3年
吉富日梨・前川憂太・伊藤翔・田辺澪菜

修学旅行先の京都で市内散策をしていた4人は、住宅街をふらつきながらはだしで歩く高齢女性に遭遇しました。倒れては大変と体を支え、熱中症にならないように水を買って飲ますとともに、通りがかった人に警察への通報を依頼。警察官到着するまで、団扇で仰ぎながら手を握り、声をかけ励まし続けました。

自分たちでできることに最善をつくした4人にとって、忘れられない修学旅行の思い出となりました。

危機一髪

宮崎県 都城工業高校1年
徳永脩汰・城村慎之介・中村直翔・松村蓮聖

午後7時頃、陸上部の部活を終え自転車で帰宅途中、4人は道路にうづくまる女性を発見しました。いったん通り過ぎたものの「様子がおかしい。心配だな」と話し合い、戻って声をかけると、女性は泣きながら通話していたスマホを置いて、なんと橋に向かい突然走り出し、川へ飛び降りようとしたのです。欄干に足をかけ身を乗り出す女性を必死に3人でなんとか引き止め、一人は110番へ通報。無事、駆けつけた警察官に引き渡すことができました。

4人は、「とても怖かった。助かって安心した」と胸をなでおろしました。

何かおかしい

福岡県 県立行橋高校2年
大迫哉太

夜9時過ぎ、買い物を終え家に向かっていた大迫さんは、高齢女性から「ここは〇〇ですか」と声をかけられました。でも、その住所は3キロ以上も離れたところ。もしかして認知症ではと疑い、保護し安全な場所へ誘導していると、高齢女性に娘さんから電話が。大迫さんは状況を説明し、所在地の分かる近くのドラッグストアまで付き添い、娘さんの通報を受けて駆けつけた警察官に引き渡しました。

暗い夜道では交通事故などの危険性もあるため、家族から大変感謝されました。

